

臨床検査医学 (血管代謝病態解析学分野)

研修指導者名

橋口 照人 山口 宗一 清水 利昭 大山 陽子 竹之内 和則

メッセージ

検査医学：知識・理解そして感銘

血液検査室、生化学検査室、細菌検査室、生理検査室・・・そこは病態が検査データに変換される最先端の技術が結集した場所です。最終検査報告を書き換えることのできる権利を持つ人はいません。それは検査室の独立性の証明であると同時に検査室はその信頼に応える義務があるのです。

卒後教育支援は、初期研修・後期研修を通して細菌室での実習、遺伝子検査、輸血学など横断的分野の研修と血液フローサイトメトリーなど臨床科のニーズに応える研修を行い、各臨床科との有機的な関係の中で知識と技能の習得の支援を行って行きたいと思っております。また、次世代の臨床検査専門医の育成と全科対応・包括的サポートの必要なHIV感染症診療、血栓止血領域の疾患の診療に携わる医師の育成を考えております。研究マインドの涵養につながるような質の高い教育を目指します。

卒後教育支援

初期研修

初期研修医のための
検査部の役割として

- 横断的分野の研修
例：細菌室実習、遺伝子検査、輸血学など
- 臨床科からのニーズに応える研修
例：血液フローサイトメトリーなど

基本領域における知識
と技能の習得



後期研修

次世代の臨床検査専門医の育成

- 臨床検査に関する医学知識と技能
- 臨床検査の研究および開発
- 臨床検査部の管理
- HIV感染症の専門的診療
- 血栓・止血関連疾患の専門的診療

データの理論的・
経験的考察による理解
研究マインドの涵養



研修目標

初期研修を終えた医師やそれと同等以上の能力を持つ医師が、日本臨床検査医学会認定臨床検査専門医資格を取得し、臨床検査医学領域の指導者および臨床検査室の指揮監督者の能力を習得することを目標とする。



研修可能技能

検査業務 (ISO15189の維持)の指揮、および当院で行なっているあらゆる検査(検体検査、生理検査、微生物学的検査など)に対する知識の習得、またそれらを有効に利用するために必要なアドバイスを提供できる能力を身につける。その他、臨床検査医にふさわしい研究テーマに沿って、実験、学会発表、論文の執筆もできる能力を身につける。

取得できる専門医資格技能

日本臨床検査医学会認定臨床検査専門医 (2年間の初期臨床研修終了3年後)

特徴

本院は、日本臨床検査医学会の認定機関である。現在、血管代謝病態解析学分野には4名の臨床検査専門医が在籍している。また、当分野においては、全科対応・包括的サポートの必要なHIV感染症診療、血栓止血領域疾患の専門的診療の研修が可能である。

研修参加条件

卒後臨床研修終了者

研修施設

鹿児島大学病院

研修期間

3年以上 (2年間の初期臨床研修終了後、定められた研修カリキュラムにより3年以上の専門医研修を修め、資格試験に合格し専門医として認定される。)

研修プログラム

- 1 GIOs (一般教育目標 ; General Instructional Objectives)
 - 1-1 診療科の医師が検体検査および生理検査を有効に利用するために必要なアドバイスサービスを提供できる臨床検査医学の知識を修得する。
 - 1-2 院内感染管理に指導的役割を果たすのに必要な技能と知識を身に付ける。
 - 1-3 検査室の指揮監督 (品質管理、技術管理、人事・機器管理、ISO15189の取得と維持)に必要な技能と知識を身に付ける。
 - 1-4 臨床検査専門医に相応しい研究テーマに沿って、実験・学会発表・論文執筆ができる能力を身に付ける。
- 2 SB0s (行動目標 ; Specific Behavioral Objectives)
 - 2-1 以下の検査についてアドバイスできる技能と知識を修得する。
 - 2-1-1 一般検査 (尿・便・髄液検査)
 - 2-1-2 血液学的検査
 - 2-1-2-1 末梢血液像判定
 - 2-1-2-2 骨髓像判定
 - 2-1-2-3 フローサイトメトリー
 - 2-1-2-4 凝血学的検査



研修プログラム

2 SBOs (行動目標 ; Specific Behavioral Objectives)

2-1 以下の検査についてアドバイスできる技能と知識を修得する。

2-1-3 内分泌・代謝学的検査

2-1-4 酵素学的検査 (アインザイムを含む)

2-1-5 免疫学的検査

2-1-5-1 リウマチ関連検査

2-1-5-2 自己抗体

2-1-5-3 HLAタイピング

2-1-6 微生物学的検査

2-1-6-1 グラム染色と抗菌薬選択

2-1-6-2 微生物領域の遺伝子診断

2-1-6-3 HIV検査 (HIV薬剤耐性遺伝子解析を含む)

2-1-7 薬物血中濃度測定

2-1-8 生理検査

2-1-8-1 心電図検査 (ホルター心電図を含む)

2-1-8-2 呼吸機能検査

2-1-8-3 腹部超音波検査

2-1-8-4 甲状腺超音波検査

2-2 感染管理に関する知識と経験を修得する。

2-2-1 耐性菌 (MRSA、多剤耐性緑膿菌、VRE) の検出方法

2-2-2 院内疫学調査

2-2-3 パルスフィールドゲル電気泳動

2-2-4 標準予防策、経路別感染予防策、ワクチン

2-3 検査室管理運営に関する知識と経験を修得する。

2-3-1 ISO15189の維持

2-3-2 精度管理

2-3-3 検査室システムの構造

2-4 医療安全・検査室安全管理の知識と経験を修得する。

2-4-1 安全対策・医療事故処理対策

2-4-2 臨床検査に関わる苦情処理対策

2-4-3 安全管理のための作業条件と職場環境

2-4-4 インシデント・アクシデント報告

3 LS (研修方略 ; Learning Strategy)

3-1 検査部での日常業務 (報告書作成、会議を含む) で検査に関する技能・知識を修得する。

3-2 血管代謝病態解析学分野での抄読会や研究活動に参加し、検査に関する研究能力を習得する。

3-3 インфекション・コントロール・チームの会議や感染管理実務に参加し方法論を体得する。

現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	0	(0)	0
卒後4年目	0	(0)	0
卒後5年目	0	(0)	0

プログラムの募集人員及び選考

- 【募集人員】 3名程度／年
 【選 考】 面談にて行ないます

研修と大学院の関係

大学院への入学は積極的に勧める。研修期間との関係については規定は設けず、本人の希望を考慮して柔軟に対応する。また、国内・国外留学も積極的に勧めるが、原則として学位取得後とする。

処 遇

大学病院医員としての待遇

研修終了後の進路

大学病院、総合病院における検査全般の管理、アドバイスおよび検査に対する教育・指導にあたる。また、国内外への留学によるさらなる研鑽も可能である。

指導医・専門医

日本臨床検査医学会臨床検査専門医 5名 日本内科学会総合内科専門医 1名
 日本神経学会認定神経内科専門医・指導医 1名

プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

電話：099-275-5437 fax:099-275-2629

mail : munekazu@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp (山口宗一)

